

2018年度第1回京都競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 福寿草特別

福寿草（ふくじゅそう）は、キンポウゲ科の多年草。旧暦の正月に咲き出すことから別名「元日草」と呼ばれる。日本、東シベリアなどに自生し、多くの品種がある。黄色で直径約4cmの花が頂生する。花言葉は「幸福」「幸運を招く」。

○ 初夢ステークス

初夢（はつゆめ）は、新年になって初めて見る夢。「一富士・二鷹・三茄子」を初夢に見ると縁起が良いとされている。

○ スポーツニッポン賞京都金杯（GⅢ）

本競走は、昭和38年に創設された『迎春賞』を前身とする重賞競走。41年に『スポーツニッポン賞金杯』と改称するとともに、別定重量戦となった。その後、56年にハンデ戦となり、平成8年から東西で行われる金杯を区別するため、現在の競走名に改称された。また、12年には距離が2000mから1600mに短縮された。

スポーツニッポン新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 舞鶴特別

舞鶴（まいづる）は、京都府北部の市。幕末までは田辺城の城下町として、明治以降は旧日本海軍の軍港として栄えた。海岸は若狭湾国定公園に含まれ、入江と岬が織りなす天然の造形美が雄大に広がる。

○ 寿ステークス

寿（ことぶき）は、祝うべき事柄。また、祝いの言葉や儀式のこと。

○ 万葉ステークス

万葉（まんよう）は、現存する最古の和歌集である『万葉集』の略称。大伴家持が編纂に携わったとされ、仁徳天皇期から淳仁天皇期までの短歌・長歌・旋頭歌など約4,500首が収録されている。

<第3日>

○ 許波多特別

許波多（こはた）は、京都府宇治市の地名「木幡」の元となったもの。許波多神社が有名。皇位継承をめぐる壬申の乱の時に大海人皇子（後の天武天皇）が戦勝を祈願したと言われている。また、競馬発祥の神社としても知られ、古代から祭礼行事として競馬（くらべうま）が行われていた。

○ 羅生門ステークス

羅生門（らしょうもん）は、平安京の条坊都市の中央を南北に貫いた朱雀大路の南端に構えられた大門、「羅城門（らじょうもん）」の後世の当て字。芥川龍之介の短編小説の題としても有名。

○ 日刊スポーツ賞シンザン記念（GⅢ）

本競走は、シンザン号の栄誉を称え昭和42年に創設された重賞競走。同馬は、39年にセントライト号以来23年ぶり、日本競馬史上2頭目の三冠制覇という偉業を達成し、翌年には天皇賞（秋）と有馬記念も制して五冠馬の称号を得た。引退後も種牡馬として活躍し、59年に顕彰馬に選出された。

日刊スポーツ新聞社は、北海道・東京・愛知・大阪・福岡に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○ 北大路特別

北大路（きたおおじ）は、京都市街地北部を東西に走る幹線道路。東は白川通りから西は金閣寺前に至り、沿道には大徳寺や船岡山公園などがある。烏丸北大路には、バスターミナルや地下鉄の駅があり、京都市北部の交通の拠点となっている。

○ 新春ステークス

新春（しんしゅん）は、新年、正月の別称。昭和29年に国営競馬が日本中央競馬会へと移管されて以来、現存する最も古い競走名のひとつ。

○ 淀短距離ステークス

淀（よど）は、京都市伏見区の地名。名は、川の水が淀むことに由来する。宇治川・桂川・木津川の合流点付近を占め、旧河床や自然堤防を利用した野菜栽培が盛んであったが、近年は急速な宅地化が進んでいる。また、京阪電鉄京阪本線の駅名にもなっており、京都競馬場の最寄り駅としても知られている。

<第5日>

○ 雅ステーキス

雅（みやび）は、宮廷風であること、上品で優美なこと。「俚（さと）び」に対する語。江戸時代の国学者本居宣長は、平安時代の和歌、物語を含む古代文化の中心にあるものを「みやび」とよんだ。

○ 紅梅ステーキス

紅梅（こうばい）は、紅色の花が咲く梅。『源氏物語』第四十三帖の巻名でもある。梅は、中国原産のバラ科の落葉高木。300種類以上の品種があり、大別して野梅系・緋梅系・豊後系がある。花言葉は「忠実」「優美」。

○ 日経新春杯（GⅡ）

本競走は、昭和29年に『日本経済新春杯』として創設された重賞競走。54年に現在の競走名に改称された。56年から平成5年までは別定重量戦で実施されていたが、6年にハンデ戦に変更され、現在に至る。

日本経済新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第6日>

○ 祇園特別

祇園（ぎおん）は、京都市東山区八坂神社（祇園社）およびその周辺の地名。門前町として発展し、花街としても知られる。現在でも、町家や石畳の風情が残り、京都観光の中心地のひとつとして親しまれている。

○ 若駒ステーキス

若駒（わかごま）は、若い馬のこと。本競走は、春のクラシック戦線を占う一戦としても知られている。

○ すばるステーキス

すばるは、牡牛座にある散開星団、プレアデス星団の和名。数多くの星によって構成されているが、肉眼で確認できる星は6個程度であることから、「六連星（むつらぼし）」とも呼ばれる。

<第7日>

○ 睦月賞

睦月（むつき）は、陰暦一月の異称。睦び月（むつびつき）とも言う。

○ 山科ステークス

山科（やましな）は、京都市東部の区名。古くから大和と近江を結ぶ交通の要地で、平安京の近郊農村として瓜、茄子、染料用の茜栽培などが盛んであった。藤原鎌足創建の山階寺（やましなでら）跡・天智天皇陵・本願寺跡・勸修寺（かじゅうじ）など史跡が多い。

○ 石清水ステークス

石清水（いわしみず）は、石清水八幡宮の略称。石清水八幡宮は、京都府八幡市にある旧官幣大社。都からみて裏鬼門に位置しており、鬼門に位置する比叡山延暦寺とともに都の守護、国家鎮護の社として崇敬を受けてきた。